

南房総市ため池ハザードマップ

作成 南房総市 農林水産課

お問い合わせ先 〒299-2492 千葉県南房総市富浦町青木28番地 TEL:0470-33-1071

令和元年7月発行

このマップの使い方

ため池ハザードマップは、地震や大雨等により、万が一ため池が決壊した場合に備えて、安全な避難行動等に役立てるために情報を提供する目的で作成しました。

ため池は、江戸時代から明治時代に多く建造されており、現在でも農業用水のみならず、洪水調整機能などの防災機能や水辺空間の憩いの場としても活用されています。ただし、一度決壊すると、大きな災害につながる危険性がありますので、注意が必要です。

日頃より、本マップを活用して、以下の備えを行い、いざという時に備えてください。

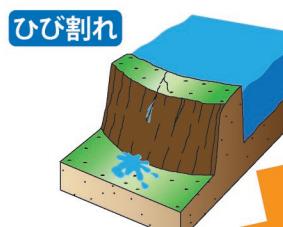
- ① 自宅等の周辺の危険性をハザードマップで確認しましょう。
- ② 家族や近所で話し合い、避難場所や避難経路を決めておきましょう。
- ③ 家族の連絡方法や集合場所を決めておきましょう。
- ④ いざという時に安全な避難行動が出来るように、日頃から準備しておきましょう。
- ⑤ 避難情報や気象情報等の防災情報の入手先を確認しておきましょう。
- ⑥ 住んでいる地域の過去の災害について振り返り、話し合いましょう。



ため池はこんな状況の時が危ない

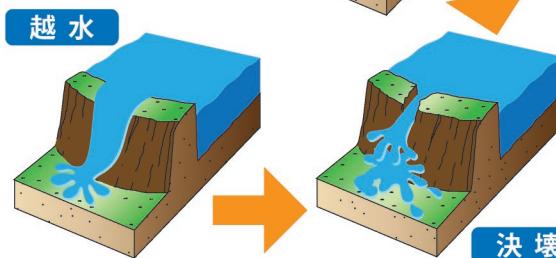
● 地震時

ため池の堤防が、地震による大きな力を受けて亀裂が生じることで決壊する危険性があります。比較的小さな地震でも、堤防の内部に生じた亀裂などにより強度が低下し、水圧に耐え切れず決壊することがありますので注意が必要です。



● 大雨時

ため池の水位が上昇し、堤防をのり越えた水の勢いによって堤防が浸食され、決壊することがあります。流木やゴミ等によって余水吐(洪水吐)の断面がふさがると、堤防を越流しやすくなり、浸食・崩壊の危険性は、一層高くなります。



避難する時はこんなことに気をつけよう

日頃から、災害に対する備えを十分しておきましょう。避難は原則徒歩で行い、土砂災害警戒区域やアンダーパス等の危険な箇所は出来るだけ避けて行いましょう。



水深が、ひざまであるようなら無理をせず、自宅の2階や高台などへ避難して救助を待ちましょう。



非常持出品は、両手が自由に使えるようリュックサックにまとめ、持ちやすいように用意しておきましょう。

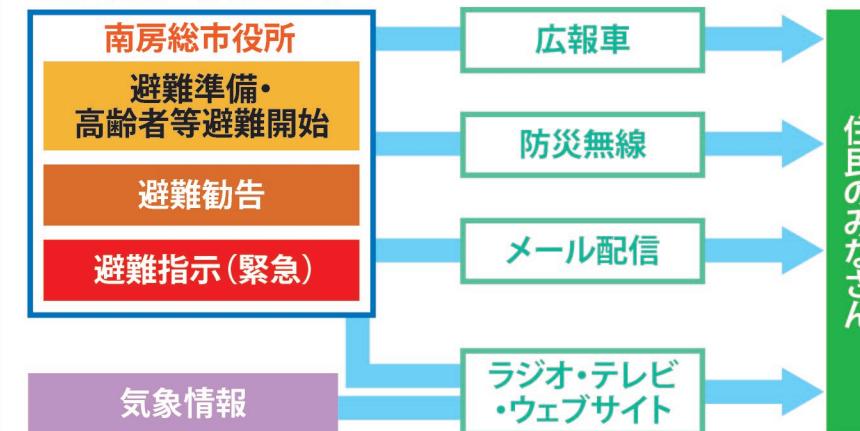


単独での行動は避け、隣近所に声をかけ合って、家族やグループで決められた場所に避難しましょう。

■ 避難情報や気象情報の入手先を知りましょう

災害発生のおそれがある時やすでに発生した時は、南房総市より避難情報を発表します。安全安心メールやウェブサイト等を活用して情報を入手しましょう。ため池の異常等を発見した場合は、すぐに市役所に連絡してください。

避難情報の伝達経路



ため池の異常等を
発見した場合
すぐに連絡してください。

南房総市役所 農林水産課
TEL:0470-33-1071

避難情報が発表された場合は、すぐに行動に移してください。避難情報は以下の3種類があります。

避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)
● 人的被害の発生する可能性が高まり、避難に時間を要する人は避難を開始する状況	● 人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況	● 人的被害の発生する可能性が非常に高く、切迫している状況
とるべき行動	とるべき行動	とるべき行動
○ いつでも避難できるように、準備しましょう。 ○ 正確な情報を入手しましょう。 ○ お年寄りや身体の不自由な方は、避難を開始しましょう。	○ 避難場所、避難所に避難を開始しましょう。 ○ お互いに助け合い避難しましょう。	○ 避難可能な場合は、確実に避難を完了してください。 ○ 避難できない状況であれば、建物内や近所の安全な場所へ避難しましょう。

避難情報が出ていないとも、身の危険を感じたら、早めに安全な場所に避難しましょう。

メール・ウェブサイトでの情報の入手方法。

■ 南房総市HP
<http://www.city.minamiboso.chiba.jp/>



■ 南房総市安全安心メール
(登録ページ)

aam-reg@anzenlife.jp

※上記アドレスに空メールを送信して、指示に従い登録してください。



■ 気象庁
<https://www.jma.go.jp/jma/>



■ 千葉県防災ポータルサイト
<http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/>



■ Yahoo!防災速報
<http://yahoo.jp/ihP05z>
※QRコードを読み込みますとダウンロードページに移動します。



ため池の役割

- 農業用水として 田畠へ水を供給するため、人工的に水を溜めるための施設です。
- 防災機能として 大雨時に下流域の洪水を調整する機能があります。
- 防火用水として 火災時の防火用水として利用できます。
- 非常用水として 災害など非常時に生活用水として利用が可能です。

